



平成 22 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 池田泉州ホールディングス
代 表 者 名 取締役社長兼 CEO 服部 盛隆
(コード番号 8714 東証・大証第1部)
問 合 せ 先 企画部統括部長 田原 彰
(TEL 06-4802-0013)

池田泉州銀行の組織体制について

株式会社池田泉州ホールディングス（社長兼CEO 服部盛隆）の完全子会社である株式会社池田銀行（頭取 服部盛隆）と株式会社泉州銀行（頭取 吉田憲正）は、平成 22 年 5 月 1 日合併後の株式会社池田泉州銀行の組織体制につきまして、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。なお、合併は関係当局による認可が前提となります。

記

1. 組織体制のポイント

新銀行では、合併後の円滑な事業遂行を確実なものとしつつ、新銀行として特徴ある新サービスを早期に提供していくために、新たな組織体制でスタートいたします。

新銀行において、地域における適切かつ十分な金融仲介機能の発揮は、経営の最重要事項のひとつと位置付けており、これまで以上に積極的に推進してまいります。

具体的には、新銀行の経営戦略の柱である独自の成長戦略を効果的に推進するために、営業部門において「アジアチャイナ本部」「先進テクノ本部」「プライベートバンキング本部」を独立本部として設置し、地域の皆様に対して、池田泉州銀行ならではの新サービスを提供してまいります。

また、銀行の使命である社会的責任と公共性ならびにリスク管理を強く認識し、「リスク管理委員会」「ALM 委員会」を設置して引続きリスクマネジメント力の強化を図るとともに、各種法令への適切な対応をはじめとしたコンプライアンスのより一層の徹底に努め、内部管理態勢の充実に注力するために、「コンプライアンス委員会」を設置します。

さらに、昨今の経済環境を踏まえた金融円滑化への取組についても、経営会議の諮問機関として「金融円滑化推進委員会」を設置し、金融円滑化をさらに推進してまいります。

池田泉州銀行は、「幅広いご縁」と「進取の精神」を大切に、お客様のニーズに合ったサービスを提供し、「地域の皆様からのご支持 No.1」のご評価をいただけるように、さらなる飛躍と企業価値向上に努めてまいります。

2. 主な部署の概要

① アジアチャイナ本部

池田泉州銀行は、アジア・チャイナゲートに位置する銀行として、アジアビジネスのサポート力で地域 No.1 を目指します。そのため、新たに「アジアチャイナ本部」を設置し、アジア・チャイナビジネスを展開する企業に向けた当行独自のネットワークを構築するとともに、海外進出や貿易取引など、アジア・チャイナビジネスをサポートすることにより、取引開拓・深耕を推進してまいります。

② 先進テクノ本部

池田泉州銀行は、お客様の IT・バイオ等の先進技術への積極的な支援及び利便性向上に向けた取り組みを進めます。そのため、新たに「先進テクノ本部」を設置し、技術提携や M&A を含む先進技術企業へのサポートを積極的に推進するとともに、産・学・官のネットワークを活用した様々なマッチングを実現してまいります。

③ プライベートバンキング本部

池田泉州銀行は、プライベートバンキング本部において、オーナー企業への法人・個人一体サービスの提供等を通じたプライベートバンキング業務の拡大を行います。

これまでに培ってきたPBのノウハウをさらに充実させると共に、事業承継・相続対策のご相談及び当該企業の資金調達、決済業務、M&A などの法人取引までを含めた法人個人一体の高度なサービスのご提供を行います。

④ 金融円滑化推進委員会

池田泉州銀行は、昨今の経済環境を踏まえ、地域における金融円滑化の対応を最重要課題と捉えています。特に中小企業のお客様や住宅ローンをご利用のお客様へのきめ細かな金融のご相談など、お客様を最大限サポートしてまいります。

以 上

